

土木学会原子力土木委員会 リスクコミュニケーション小委員会  
第5回小委員会 議事録

1. 日時：2021年8月19日（木）18:00-19:40
2. 場所：Zoomによるオンライン会議
3. 出席者：奈良委員長、堀口委員、平川委員、桑垣委員、中村委員、武田委員、  
松村幹事長、蛭沢（オブザーバ）、小長井（オブザーバ）
4. 資料  
資料1 第4回リスクコミュニケーション小委員会議事録（案）（松村幹事長）  
資料2 リスクコミュニケーション小委員会 活動状況と今後の予定・参考資料（7/9 親  
委員会資料）（松村幹事長）  
資料3 デルファイ調査実施概要報告（桑垣委員、堀口委員）

5. 議事要旨

2020年12月から2021年6月までに実施してきたデルファイ調査の概要（第1回：2020年12月～2021年1月、第2回：2021年4月～5月、第3回：2021年6月～7月）を振り返り、経過を確認するとともに、調査結果概要を共有しつつ、委員全員による感想も含めた意見交換を行った。広範囲な意見・感想が述べられたが、主なものをまとめると以下の通りである。

- ① 第1回調査の回答を読んだ感想として、とても沢山文章を記載していただいた方が多かった。常日頃、このテーマでいろいろなことを考えていることが伝わってきた。
- ② 立場や関わり方が異なると回答内容も変わってくる印象を持った。属性との関係が整理できると良い。
- ③ コストに関する回答として、陽に記述されているものが無いようであるとのことに驚いている。リスコミに係る項目として、コストは必須項目の一つと認識している。コストに係る内容として、少しでも読めるようなものについて、再度分析してはどうか。3.11以降、コストについて陽に述べることを慮る雰囲気があると認識しているためである。
- ④ 技術的な情報とともに、コストについても発信していくよい機会になる。委員会でも今回の結果を披露して議論するとよい。
- ⑤ 持続的なリスコミは当事者（委員会）が自ら実施していくことが大事である。
- ⑥ 多くの回答のなかの上位に入らなかった項目にも興味がある。
- ⑦ 今後は、全データを小委員会メンバーで共有し、分析を進めるとともに、リスコミの枠組みとして、相手を誰（一般国民、近隣住人、原子力以外の専門家など）にするのか、何を発信するのかなどを、考えていくのがよい。
- ⑧ 目標回収数は満たしたが回収率は半数程度のため、回収方法や質問文のわかりやすさ

をもう少し工夫したい。また、問1と問2の回答が似通っていたので、違いが分かるようにした方がよかった。

また、全国大会研究討論会の資料等についても議論し、スケジュールや担当を確認した。

#### 6. 今後の予定

全データをもとに考察を進め、次回の小委員会で議論する。他学会の調査として、原子力学会への調査依頼を検討する。地域・関係者へのインタビューはコロナ感染の状況に注視しつつ、引き続き検討する。次回小委員会は年度内に開催の方向として、後日調整する。

以上